



## 新たにペアリングする場合

接続が中断された場合、または複数のワイヤレスフットペダルを並行して使用する場合は、RFスティック(1)とワイヤレスフットペダルを新たにペアリングすることができます。

**※本手順は上記に当てはまらない場合は実施する必要はございません。**

**※想定外の着火を避けるため、ガスバーナーのガス調節弁を閉じてから実施してください。**

**※新たにペアリングしたいRFスティック(1)をガス/電気バーナーに差し込み、ワイヤレスフットペダルを近く(30cm以内)に置いてから実施してください。**

※誤って、新たにペアリングしたいRFスティック(1)以外で実施してしまった場合は、本手順を完了する前の段階でガス/電気バーナーの電源を切ってペアリングを中止してください。

ペアリング手順:

- 1.ガス/電気バーナーの電源を切ります。
- 2.フットペダルを軽く押しフットペダルの電源を入れます。  
※フットペダルには電源のスイッチがございませんが、操作することで自動的に電源が入ります。
- 3.ガス/電気バーナーの電源を入れます。
- 4.その後すぐにフットペダルのペアリングボタン(3)を約3秒間押し続けてください。  
※ペアリングが開始するまでに約1秒かかります。  
※ペアリングが開始するとペアリングボタン(3)のランプが点灯し、0.5~30秒ほど続きます。  
※正常にペアリングできるとすぐにペアリングボタン(3)のランプが消え、その後ランプが弱い点滅に切り替わります。

**※RFスティックとフットペダルは出荷時にあらかじめペアリングされています。本手順は必要な場合のみ実施してください。**

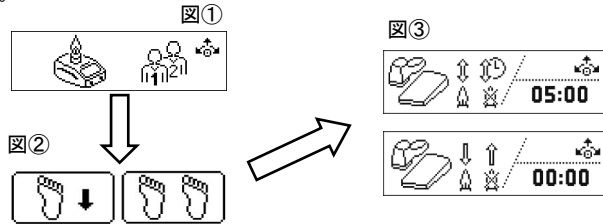
## 仕様

使用可能範囲	2~5m
周波数	2400~2483.5MHz
電力	10mw以下
チャンネル数	253
電池寿命	約2000時間 ≒1日8時間稼働でおおよそ1年
弱く点灯	ペアリング中の状態

## フェーゴSCS・フェーゴSCSプロでの使用方法

1.ガスバーナーのスイッチをONにしたら、図①が表示されている間にフットペダルのペアリングボタン(3)を1回押すとフットペダルが検知され、図②、図③が表示されます。

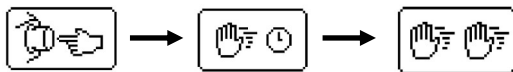
図③が表示されたら接続が完了し、フットペダルでの操作が可能になります。



2.フットペダルが検知範囲の外にある場合、フットペダルのペアリングボタン(3)を押しても検知されず、図④が表示されます。ペアリングボタン(3)が早く点滅している場合は、ワイヤレスフットペダルが5メートル以上離れた場所に設置されているか、信号が遮断されていることを示します。その場合、フットペダルを範囲内まで近づけて1からの操作を繰り返すか、ペアリングをもう一度行ってください。



※ディスプレイに下のように「図②」以外の図が表示された場合は、ファンクションノブを回して図②のどちらかを表示させてから使用してください。



## フェーゴSCSベーシックでの使用方法

1.ガスバーナーのスイッチをONにして、「Standard」と「Start-Stop」ランプが交互に点滅しているときにフットペダルのペアリングボタン(3)を1回押すと「Standard」か「Start-Stop」どちらかのランプが点灯します。

2.ランプが点灯したら接続が完了し、フットペダルでの操作が可能になります。

### ※「Button」ランプが点灯している場合

ガスバーナーのスイッチをONにしたとき、「Button」ランプが点灯している場合は、ガスバーナー本体のファンクションノブを回して「Standard」もしくは「Start-Stop」に切り替えてから、フットペダルのペアリングボタン(3)を1回押しください。接続が完了すると、「Standard」または「Start-Stop」どちらかのランプが点灯します。

ランプが点灯したら接続が完了し、フットペダルでの操作が可能になります。

## ワイヤレスフットペダル/RFスティック

# 取扱説明書



図201WW

10215030

【輸入元】



株式会社 東京エム・アイ商会

〒135-0023 東京都江東区平野3-2-6

TEL:03-6458-5588 FAX:03-6458-5518

## ※ご注意ください※

本器はドイツWLD-TEC社製の

**フェーゴSCSシリーズ・フレーム100/110・ガスプロフィ1SCSマイクロ・ステリマックスベーシックにのみ対応しております。**

そのほかの器械には対応しておりませんので、ご注意ください。

※フェーゴSCSベーシックRFスティック内蔵タイプには使用できません。

このたびは、ワイヤレスフットペダル/RFスティックをご購入いただきありがとうございます。

本器を使用する前に、本書をよくお読みになり正しくご使用ください。

本器は、クリーンルーム、クリーンベンチ、研究室等において環境の保全と安全性を追求しておりますが、物理的損害、死亡に至る事故や傷害を負う危険性がありますので、本書に従い充分注意してご使用ください。

※本製品はの**保証期間は1年間**です。

保証登録の方法や保証規定につきましては別紙をご参照ください。

※本書は必ず保管してください。



## 警告・および使用上の注意

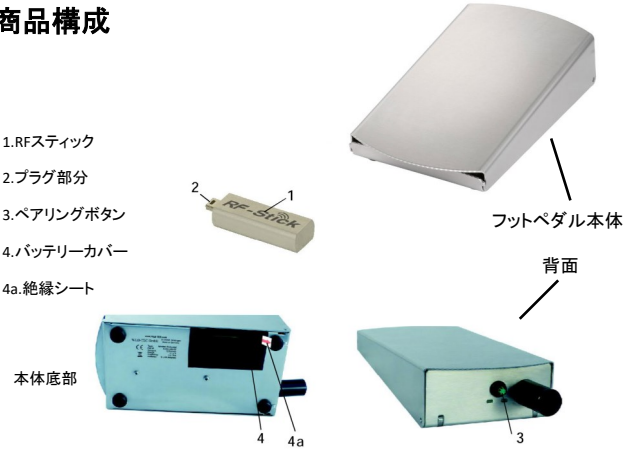
- ・対応製品以外での使用は絶対にしないでください。
- ・開梱の際は、機器に破損などがなく十分に確認してください。破損などがあった場合は使用せずに購入先、もしくは輸入元に連絡してください。
- ・長期間使用しない場合は電池を外して保管してください。
- ・付属のガス/電気バーナーの説明書も併せてよくお読みになって正しくお使いください。
- ・本器を使用しているときは、その場を離れないでください。
- ・本器は絶対に分解・改造をしないでください。
- ・作業中は必ず換気をしてください。
- ・水気の多い場所での使用や保管はしないでください。内部に液体が入ると故障、火災、感電等の原因となります。
- ・本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、強い磁力の発生する場所などでの使用・保管は避けてください。

## 電波に関する注意事項

- ・本器の仕様周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要しない無線局)が運用されます。
- ・この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。

## 商品構成

- 1.RFスティック
- 2.プラグ部分
- 3.ペアリングボタン
- 4.バッテリーカバー
- 4a.絶縁シート



## セットアップ・および使用方法

### 1.セットアップとペアリング

セットアップするガス/電気バーナーの電源が入っていないことを確認してください。

初めて使用するときは、フットペダル本体底部にあるバッテリーカバーに付いている絶縁シート(4a)を取り外してください。電池は発送時に装着されています。(単三形乾電池2本)

RFスティック(1)のプラグ部分(2)を使用するバーナーのフットペダルソケット部に差し込んでください。

RFスティックを接続したら、使用するガス/電気バーナーの電源スイッチをONにします。

フットペダルのペアリングボタン(3)を1秒以上押し続けてください。

緑色のペアリングボタン(3)が30秒ほど点灯します。

本体RFスティックとフットペダルのペアリングが完了すると、ランプの点灯が終わり短い点滅に切り替わります。

※RFスティックとフットペダルは出荷時にあらかじめペアリングされています。

## 2.使用方法

ペアリング済のワイヤレスフットペダルとバーナーを用意してください。

RFスティックを使用するバーナーのフットペダルソケットに接続して、バーナーの電源スイッチをONにします。

ワイヤレスフットペダルには主電源がありませんので、バーナーの電源を入れた時点で自動的に使用できる状態になります。

使用後はバーナーの電源をOFFにしたあとしばらくすると、フットペダルも作動しなくなります。

**※バーナーはフットペダルを踏むと自動的に着火します。火傷や火災などに充分注意してご使用ください。**

### 3.ワイヤレスフットペダルのペアリングボタン(3)について

ペアリングボタンの点灯・点滅の仕方により、フットペダルの状態を確認することができます。

消灯	フットペダルが検知されていない、またはOFFになっている。(スイッチを入れ、ペアリングを確認してください)
点滅	フットペダルが検知され、使用可能な状態。
明るいが短い点滅	無線信号が弱いか、オーバーラップの状態。
早い点滅	RFスティックが2~5メートルの範囲内に設置されていないか、OFFになっている。 40回の点滅以内に検知されなかった場合、フットペダルは
一時的に点灯	バッテリー残量が少ない。 (新しい単三形乾電池と交換してください。)
弱く点灯	ペアリング中の状態

## フットペダルの電池交換方法

ペアリングボタン(3)が短く一時的な点灯を示した場合は、フットペダルの電池残量が少なくなっていますので、新しい電池と交換してください。フットペダルの電池カバーを取り外し、中のプラス・マイナスのガイドに従って正しい向きで新しい単三形乾電池を装着してください。

## フレーム100・フレーム110・ガスプロフィマイクロ・ステリマックスベーシックでの使用方法

器械本体の電源をONにした状態で、フットペダルのペアリングボタン(3)を1回押します。  
フットペダルが検知され、フットペダルでの操作が可能になります。